

BeFine!

第46期

第2四半期株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日

証券コード 6869

シリーズ・シスメックスあんしん物語 [第3話]

5

ページ

実感！ シスメックスの研究開発



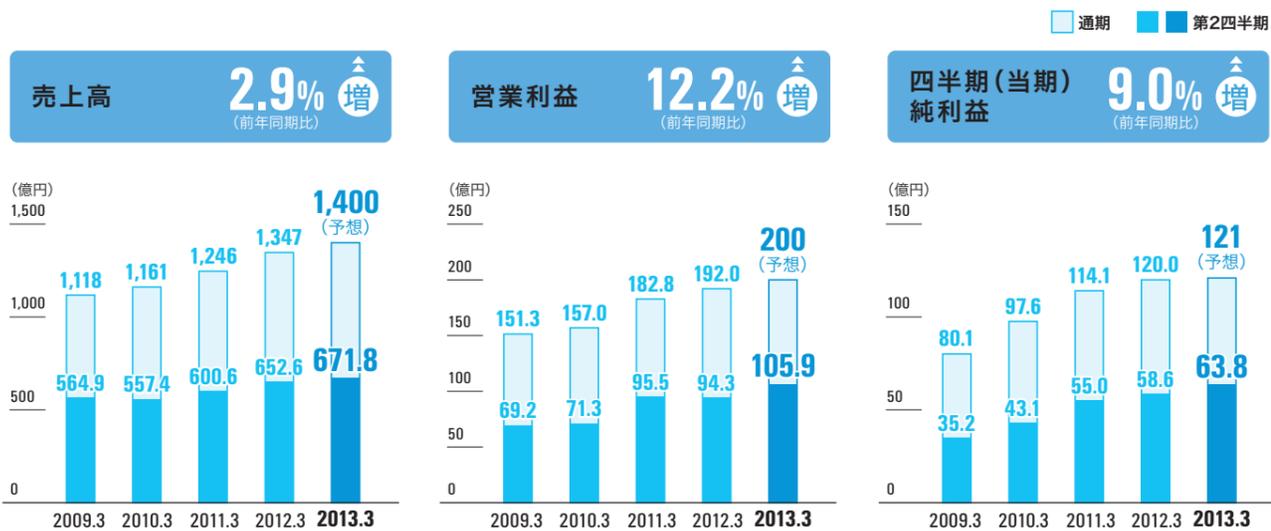
ワット・アルン(タイ)

大幅な円高ユーロ安の影響にも関わらず、増収・増益を達成しました。

第46期
第2四半期の
ポイント

ポイント
1 大幅な円高ユーロ安の影響を受けつつも、中国を中心に売上が伸び増収を達成

ポイント
2 増収効果に加え、販管費の抑制などにより営業利益が増加



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社グループの2013年3月期 第2四半期の業績は、対ユーロでの大幅な円高の影響を受けながらも、中国を中心に海外の売上が伸び、増収を達成しました。また円高による売上原価への影響がありましたが、増収効果や販管費の抑制などにより増益となりました。売上高は前年同期比2.9%増、営業利益は同12.2%増、経常利益は同13.3%増、四半期純利益は同9.0%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比6.3%増、営業利益は同28.7%増を達成したこととなります。

日本は、国内では前年同期並みの売上を確保したものの、海外関係会社向けの売上における為替の影響などにより微減となりました。海外は、販売・サービス体制の強化などにより売上が堅調に推移し、現地通貨ベースでは全ての所在地で増収を達成しました。これにより、当社グループの海外売上高比率は71.8%となりました。

2013年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、ヘマトロジー分野*の新製品「XNシリーズ」の米国への市場導入遅れ(認可手続きの長期化)の影響や中国市場の減速懸念などにより、前回予想を下回る見込みですが、売上高は前年同期比3.9%増の1,400億円、営業利益は同4.1%増の200億円を予想しています。

中間配当につきましては、1株につき17円とし、年間では34円を予定しています。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	売上高	営業利益
2012年11月発表	1,400	200
2012年5月発表	1,480	210
【参考】2012年3月期実績	1,347	192

	1USドル	1ユーロ
2012年11月発表	79.7	102.8
2012年5月発表	80	105
【参考】2012年3月期実績	79.1	109.0



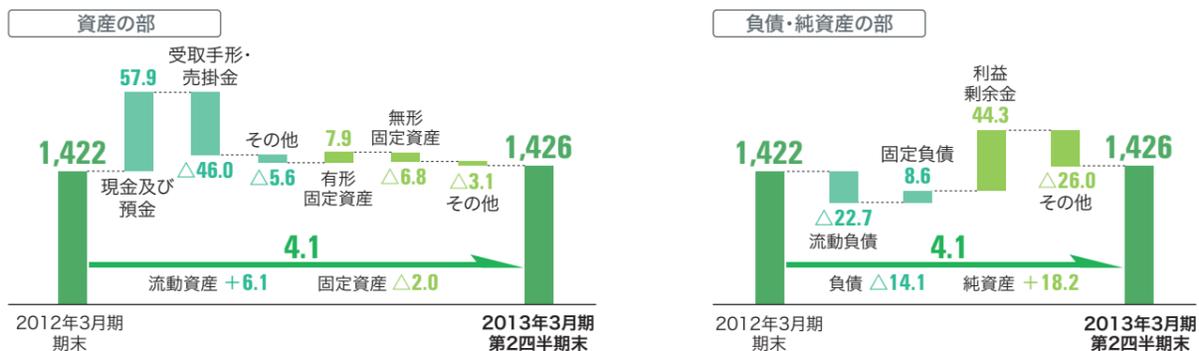
代表取締役社長

家次 恒

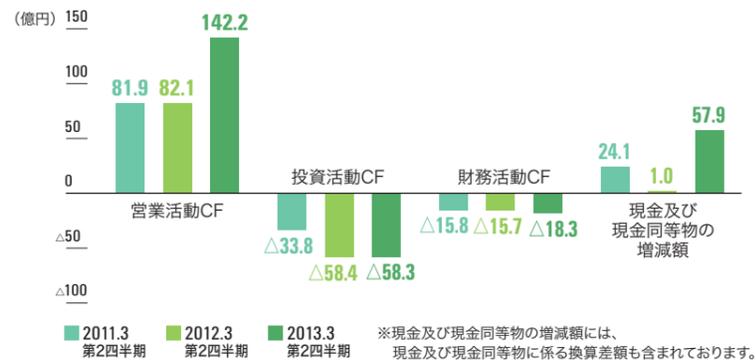
いづつ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年、代表取締役社長に就任。【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



●1株当たり配当金/配当性向



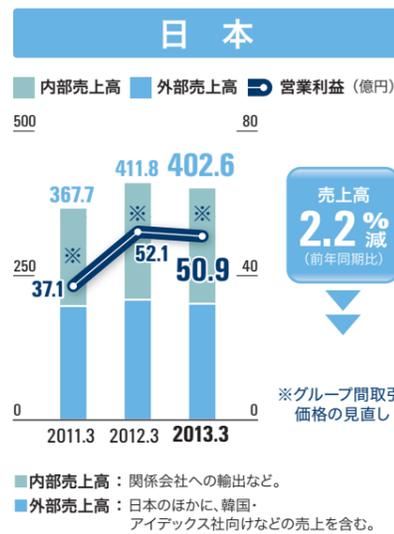
*本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。



(為替レート(期中平均)) (円)

	2011年 3月期 第2四半期	2012年 3月期 第2四半期	2013年 3月期 第2四半期
1USDドル	89.0	79.8	79.4
1ユーロ	113.8	113.8	100.7



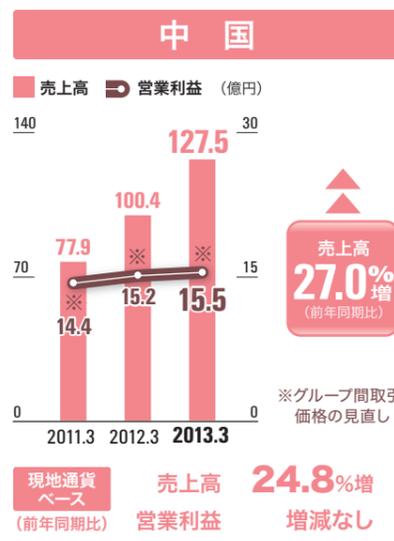
- 1 ヘマトロジー分野*は順調に推移したものの、ノンヘマトロジー分野*が減少し売上は微減となりました。
- 2 外部売上および為替の影響などによる海外関係会社への売上減少などにより、減益となりました。



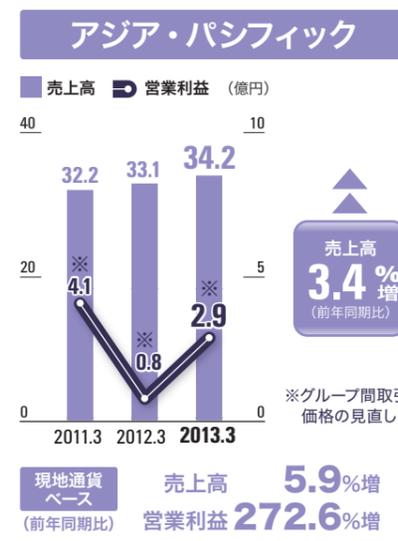
- 1 米国では医療保険改革法の行方などにより機器の買い控えが一部影響するも、試薬やサービス&サポートの売上が増加しました。
- 2 グループ間取引価格の見直しなどにより、営業利益は減少しました。



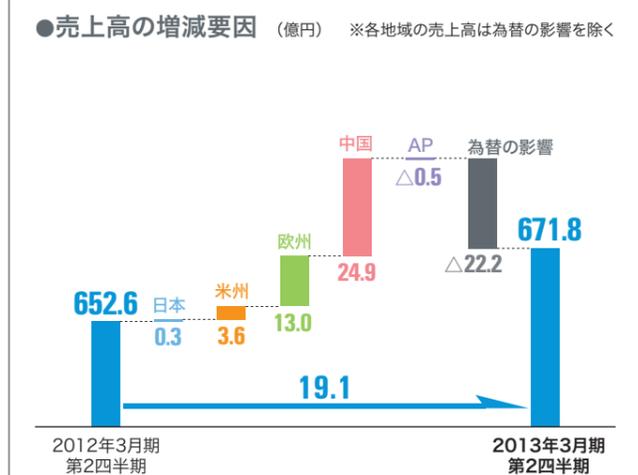
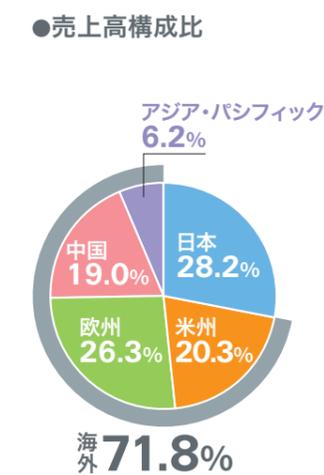
- 1 欧州経済危機の影響は限定的であったものの、大幅な円高の影響により減収となりました。
- 2 現地通貨ベースでは増収増益を達成したものの、大幅な円高の影響により減益となりました。



- 1 医療需要の拡大に伴い、ヘマトロジー分野、ノンヘマトロジー分野ともに大幅な増収を継続しています。
- 2 大幅増収を達成しましたが、グループ間取引価格の見直しにより、営業利益は微増となりました。

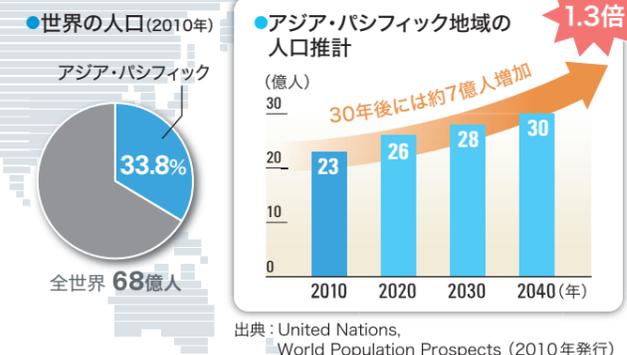


- 1 東南アジアやオセアニアで、ヘマトロジー分野の売上が増加しました。
 - 2 販売・サービス体制の強化に伴う販管費の増加を原価率の改善によって補い、増益となりました。
- (注) 日本から韓国・モンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。



グローバルレポート

アジア・パシフィック地域における ビジネスパートナーとの 強固な協力体制



16カ国から
100名以上の方が
参加されました。

タイのクラブで開催した
ビジネスパートナー
ミーティングの様子
(2012年8月)

当社におけるアジア・パシフィック地域は、東南アジア、南アジア、オセアニアの3つの地域からなり、先進国から新興国までさまざまな商習慣や医療ニーズのある国々をカバーしています。特に新興国は人口増加率が高く、今後も医療需要の高まりが期待されています。

シスメックスは、それぞれの地域に合った販売・サービス体制を整備しており、シンガポールなど現地子会社がある国では主に直接販売を、その他の地域では代理店を介した間接販売を行っています。

間接販売では、お客様のご要望やニーズに確実に応えるために、ビジネスパートナーである代理店との強固な結びつきが欠かせません。そこで毎年、現地子会社や代理店の代表者を集めてビジネスミーティングを開催しています。今年は、ヘマトロジー分野*やノンヘマトロジー分野*といった当社ビジネスに関する勉強会に加えて、顧客満足度向上につながる成功事例を共有するなど、関係会社および代理店間での活発な意見交換も行われました。

シスメックスは今後もアジア・パシフィック地域における販売・サービス体制の強化に努めてまいります。

実感! シスメックスの研究開発

シスメックスの研究開発拠点「テクノパーク」へやって来たガイドさんとまもる君。
検査室で活躍する製品はどのように開発されているのでしょうか――。



まもる君

ガイドさん

どこで製品が生まれるの?

まもる ここが研究開発拠点のテクノパークかぁ。

ガイド ここでは実験エリアと事務エリアが同じフロアにあって、コミュニケーションが取りやすいように、ガラス越しにお互いの様子が見えるように工夫されているの。

まもる あの白衣を着ている人は、どうして液体を使って実験をしているの? 血液検査は機械がしてくれるんじゃないかってっけ?

ガイド あの人は、機器とセットで使われる試薬の開発をしているの。例えば血液検査では、機器の中で

いろんな種類の試薬があるんだね!

血液検査で使われているシスメックスの試薬(例)

試薬名	働き
うすめる希釈液	血球の形を保ちながら、検査に最適な濃度に血液を薄めるための試薬。
とがす溶血剤	検査したい血液成分だけを残しつつ、それ以外の血球を溶かすための試薬。 例)白血球測定の場合は、赤血球、血小板などを溶かす。
そめる染色液	血球中の核酸成分*を染める試薬。それにレーザー光を当てたときの情報から、血球の種類を分けることが可能となる。

*核酸成分: DNA、RNAのこと。

第1話・第2話の内容はIRウェブサイトでチェック!
www.sysmex.co.jp/ir/ > IR資料室 > 事業報告書・株主通信

ガイドさん: 健康や医療に関わることなら何でもおまかせ!の頼りになるお姉さん。
まもる君: 好奇心旺盛な小学生。シスメックスの製品の秘密を探りにテクノパークへ。

試薬を血液と反応させて、血球を溶かしたり染めたりすることで、正しく測定することができるのよ。

まもる 試薬は検査を行うのに欠かせないものなんだね。

シスメックスならではの製品開発の強みとは?

まもる 試薬の開発って、どんなことをしているの?

ガイド シスメックスは世界中に製品をお届けしているから、試薬も世界各地のさまざまな環境でも安定した品質で使用できるように開発されているの。

まもる へえ〜、世界中で使われているんだ。

ガイド 成分についての各国の厳しいルールを守るために改良を重ねたり、世界7カ所にある工場で安定して生産できるように開発することも大切なポイントよ。他にも、扱いやすさや環境への配慮などについても考えられているの。

まもる たくさん考えられているんだね。

ガイド 最新機種の新シリーズ*では、試薬の性能が飛躍的にアップしたことで、機器の性能も最大限に引き出されたのよ。これは、機器と試薬の両方を開発しているシスメックスならではの強みね。(※第2話参照)

まもる 両方とも開発しているなんてすごいね!

ガイド 開発には、機器や試薬の開発者はもちろん、生産技術や調達、サービス&サポート、国内外の営業部門など、いろいろな部門の人たちが集まって、どうすればより良い製品をつくれるか、世界中のお客様へ正しい検査結果をお届けできるかをいつも考えているの。

各部門の専門家のアイデアを結集



まもる たくさんの人たちの力が集まっているから、良い製品ができるんだね。

ガイド 製品がお客様のところへ届いてからも、シスメックスの取り組みは続いているのよ。さあ、今度はサービス&サポートの様子を見に行きましょう!

テクノパークを離れ二人が向かった先は? 次回は、サービス&サポートの取り組みをご紹介します!

ポイント 1 「“知”の創造と継承」の舞台 テクノパーク

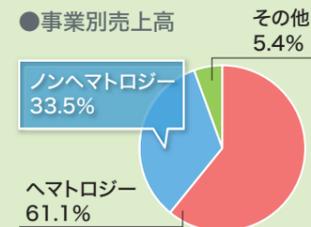
テクノパークは「“知”の創造と継承」をコンセプトに、研究開発拠点として2008年にオープンしました。多様な分野の技術を集積、融合させることで独創的、先進的な技術の創出を進めています。最新の研究設備だけでなく、開発者が自然に触れたり、日本文化を理解することで創造性を高められるよう、日本庭園や茶室なども設けています。



東京ドームの約1.5倍の広さがあり、500名以上の社員が研究開発に従事しています。

ポイント 2 今後のさらなる成長に向けて ノンヘマトロジー分野の開発を強化

ノンヘマトロジーとは、シスメックスの現在の主力分野であるヘマトロジー*以外の分野(免疫、生化学、血液凝固、尿など)を指します。当社が今後さらに加速度的な成長を遂げるために、アジアを中心に同分野でのシェア拡大を目指しています。そこで、2012年4月から、免疫、生化学、血液凝固分野に関する専任組織として「ICHビジネスユニット」を新設するなど、ノンヘマトロジー分野への取り組みを強化しています。



(2012年3月期末実績)

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

個人投資家向け情報提供における 優良企業に選定

「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」(平成24年度)において、当社は「個人投資家向け情報提供」部門の優良企業に初めて選ばれました。個人投資家向け会社説明会の映像の公開、図やグラフを用いて見やすく工夫した株主通信『Be Fine!』や、株主・投資家様向けウェブサイトの内容を高く評価いただきました。



授賞式の様子
(左:社長の家次)



株主通信
『Be Fine!』

個人投資家様向け会社説明会の映像を公開中!

シスメックスの
トップページから > 株主・投資家
の皆様へ > IR資料室 > 個人投資家様向け
会社説明資料 > ぜひ、
ご覧ください!

当社発行体格付が 「A」から「A+」へ引き上げ

株式会社格付投資情報センター (R&I) による当社の発行体格付が、8月20日付で「A/安定的」から「A+/安定的」に引き上げられました。主力のヘマトロジー分野*でのグローバル展開とノンヘマトロジー分野*の拡大により収益基盤の強化を進めていることから、利益とキャッシュフローの着実な拡大が見込まれ、また財務基盤も強固であると評価いただきました。

- *ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。
- *ノンヘマトロジー分野: 血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。

「株主様会社見学会」を開催

10月19日(金)に、昨年に引き続き今年も「株主様会社見学会」を開催しました。当日は多数の株主様に、当社の研究開発拠点であるテクノパークをご見学いただきました。参加された株主様からは「実際に製品を見ながら説明を聞くことができ、シスメックスがより身近になった」、「経営者やスタッフとの話から働きやすい会社だと感じた」などのご感想をいただきました。



見学の様子

※応募者多数のため、抽選とさせていただきますことをご承知ください。

新製品「XPシリーズ」を発売

ヘマトロジー分野の新たなラインアップとして「XPシリーズ」を発売しました。この機器はこれまでの製品で培った高い信頼性を維持しながら、お客様の使いやすさを格段に向上させており、拡大する新興国の需要に対応しています。



多項目自動血球計数装置
XP-300

株主様アンケートのお願い

今後の充実した誌面づくりのため、アンケートへのご協力をお願いいたします。多くの皆様からのご意見をお待ちしております。(アンケートはがきを同封しています。)

ご協力をお願いします



会社概要

(2012年9月30日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 93億5,603万円

- 格付け A+ (R&I: 格付投資情報センター)
- 従業員数 5,481名(連結) 2,159名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 - 定時株主総会 6月
 - 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 公告方法 当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
- 同連絡先 (郵便物送付先・電話照会先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-0044 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

お知らせ

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。